

事業名	鳴海駅前第2種市街地再開発事業			都市名	愛知県名古屋市		
施行者	名古屋市		施行面積	3.2ha		補助採択	平成4年度
事業概要	公共施設 駅前交通広場(2ヶ所)、古鳴海停車場線、鳴海駅西線、鳴海4号線、鳴海5号線、鳴海6号線等 施設建築物 建築敷地面積：約16,200㎡ 建築面積：約11,100㎡ 建築延面積：約68,300㎡(住宅、商業、業務、駐車場等4棟)						
都市計画決定(変更)	平成5年3月(平成10年8月)		全体事業費	295億円			
事業計画決定(変更)	平成10年11月(平成11年12月)		補助事業費	170億円※			
権利変換計画決定(変更)	平成12年3月(平成14年2月)…D		事業進捗率	25%			
再評価時B/C	1.61	費用	325億円	うち施設整備費等	224億円	うち用地費	101億円
基準年	平成14年	便益	522億円	うち区域内	100億円	うち区域外	423億円
再評価時の評価指標チェック項目例							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元情勢 … 入居権利者のほとんどが希望されているD工区の着工が遅れていることなどから、早期着工に対する期待が大きい。</li> <li>・公共施設整備の緊急性 … 居住環境の改善や地域商業の活性化のため、鉄道の連続立体交差事業及び都市計画道路事業などとあわせ、総合的に公共施設の整備を進める必要がある。</li> </ul>							
事業の進捗状況・事業採択時より再評価実施時までの周辺環境の変化等							
経済情勢の変化により床需要、特に商業床の床需要が減少するとともに、権利者の意向により権利の工区間移動が求められたため、計画を変更した。							
今後の見通し	4工区の中で最初に着工するD工区については平成15年度、C工区については平成17年度、B及びA工区については平成19年度の着工を目指し、平成21年度事業完了の予定である。						
対応方針	事業継続						
事業概要図							